

無症候の
先天性サイトメガロウイルス
感染症の児における
長期予後に関する研究
についてのご案内



研究代表
名古屋大学医学部附属病院小児科
鳥居ゆか

このパンフレットを *Message*
手に取ってくださった方へ

お子さんが先天性サイトメガロウイルス感染症
の検査を受けて「陽性」と言われた方にこの
研究について案内させていただきます。

皆さんの不安な気持ちに寄り添えるもので
ありますように。

2025年3月
研究チーム一同

サイトメガロウイルスって？

サイトメガロウイルスは、とても昔から人と長く共生（一緒に生きること）してきたウイルスです。7割以上の成人の方はこのウイルスに感染していると考えられます。

殆どの方は、小さい時に唾液や母乳などから感染します。感染したときに症状が出ませんのでいつの間にか感染しています。

一度感染すると、このウイルスは体の奥に潜みますが、免疫が弱ったときに症状を起こすことがあります。

妊娠中にこのウイルスに感染したり、あるいは潜んでいたウイルスが増えてきたりすると、胎盤を通じてお子さんに感染することがあります。

産まれる前にサイトメガロウイルスに感染すると「先天性サイトメガロウイルス感染症」になります。

先天性サイトメガロウイルス 感染症って？

- 先天性サイトメガロウイルス感染症は300人赤ちゃんがいたら1人くらいいます。
- しかし、症状がある「症候性先天性サイトメガロウイルス感染症」の人はそのうち10～20%くらいです。
- 症状は、小頭症（頭が小さい）、脳室拡大（脳の中の髄液という液がたまっている場所が大きくなる）などがあります。網膜炎という目の症状や、耳の聞こえの悪さ（難聴）などもあります。
また、肝臓や脾臓が腫れたり、紫斑という点状の出血がおきたりします。



- 難聴は、生まれたときから数年後までに進行することもあります。
- 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症のお子さんに、ウイルスを抑える薬を6か月飲んでもらうと、耳の聞こえの悪さの進行を抑えられることがわかり、この治療が普及しています。

先天性「サイトメガロウイルスが陽性でした。」と産科で言われたけど、どうしたらいいですか？

- まずは、お子さんに本当に症状がないのか、細かく調べていく必要があります（精密検査）ので小児科に来てください。
- 精密検査の内容は、頭のMRIの検査、目の検査、聴力の検査、採血です。2か月くらいまでにすませる必要があります。もし、治療が必要なら、治療は早い方がより効果があると考えられるためです。
- 頭部MRI画像検査や聴力の検査はお子さんが動いてしまうとできないので、眠らせるお薬を飲んでもらったり点滴することもあります。
- 眼科の検査は網膜という眼球の中をみる検査になるので散瞳といって黒目を大きくする目薬を使います。
- いずれも手間のかかる検査ですがお子さんの負担が最小限になるように努めます。

「無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症」と言われたらどうしたらいいですか？

精密検査で異常がなければ「無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症」と診断されます。

無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症と診断された方は10%くらいに聴力の低下や発達の遅れや、神経発達症（自閉症スペクトラム症や注意欠陥多動障害など）が起きるといわれてきました。

しかし、この10%というのは、昔の研究から推計されているもので、当時は全員に精密検査をしておらず、精密検査をしないと症候がわからなかった方も含まれている可能性があります。

真の無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症のお子さんの発達や聴覚がどうなるのか、正確なところはまだわかりません。聴力の低下などは検査しないと早期にはわかりませんので、症状がなく困ったことがなくても定期的に診察に来てください。

この研究に参加したら どうなりますか？



この研究に参加していただくと、頭部MRI画像を名古屋大学で先天性サイトメガロウイルス感染症を専門にみている小児神経の医師が診て異常がないかを確認します。

MRIの画像や、身長体重、血液検査、目や耳の検査の情報を「匿名化」して収集させていただきます。

もし精密検査の結果、症状があって「症候性先天性サイトメガロウイルス感染症」と診断された場合は、治療の案内し、早期の治療につなげます。

最初の診察の時に採取した血液と尿に余りがでたら、その残りを冷凍して保存します。
血液や尿の中に、将来症状が出る人と出ない人を見分けられる物質があるかどうかを調べます（今はそのような物質がまだあるかわかっていませんのでご本人に症状がでるかは予測できません）。

通院の頻度は研究に参加しない場合と変わりませんが、お子さんの発達の検査をよりしっかりと行います。そのため、受診忘れなどの際こちらからお電話で来院をお願いする連絡をさせていただくこともあります。

この研究に参加いただく際の謝礼金はありません。

この研究に参加しなかったら どうなりますか？

- この研究に参加しなくても精密検査を行うことにかわりありません。
- 精密検査の結果「症状がある（症候性）」と診断された場合に治療を行うことも、かわりありません。
- 「症状がない（無症候性）」と診断されても経過観察の通院を行うこともかわりありません。
- 研究に参加しない方も同じように診療を行います。
- 研究の参加を途中でやめることもできます。

研究ご参加へのお願い

「無症候性といわれても大丈夫なんだろうか」
今、そんな不安をお持ちだと思います。
10年後、皆さんと同じようにお子さんの検査が
陽性となった方へ、少しでも正確な情報をお伝えしたいと思っています。

また精密検査をすることで実は症状のある方を見逃さないようにしたいと考えています。

研究に参加する前も研究に参加している間でも、
研究について質問などあったら担当医師に
遠慮なくお伝えください。

研究へのご参加よろしく願いいたします。





スケジュール



3歳のお誕生日まではおよそ半年に一度、4歳から6歳のお誕生日までは一年に一度、医師による診察や、検査を受けます。研究は6歳のお誕生日で終了になりますが、その後も通院を希望される場合はお知らせください。

(眼科や耳鼻科の診察・検査は目安です。この通りと限りません。)

	生後 2 か月 まで	生後 3-4か月	生後 6か月	1 歳	1 歳半	2 歳	2 歳半	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳
耳鼻科診察検査	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
頭部MRI検査	○	○									
眼科診察検査	○		○	○	必要に応じて						
血液検査	○	必要に応じて									
小児科医の診察	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
発達検査					○			○	○		○

